

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (案)

【フルセット版】

令和6年 3月
青森河川国道事務所

馬淵川水系流域治水協議会

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 広報誌・研修会で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施
- 森林整備や治山事業の取り組み概要を発信
- 防災意識を高めるイベント開催
- テレビやYouTubeを使用した流域治水の広報活動



流域治水広報(青森県)

情報伝達手段強化

- メディアとの連携による、防災ラジオ放送、SNS・メール配信を開始
- 避難所標識・誘導標識等による避難所・災害注意情報の周知



避難所・災害注意情報の周知(五戸町)

教育活動

- 小中学校・住民の防災意識向上のための防災教育、ワークショップ開催
- 防災マップを活用した研修を実施
- 自主防災体験研修会を実施
- 自主防災組織等に対する地域防災サポータ派遣
- 土砂災害等に関する出前講座の実施
- 森林の役割や大切さ等の理解を深めるため、地元小学生を対象に森林教育や体験学習を実施
- 大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施



小中学校への防災教育(一戸町)



森林教育・体験学習(森林管理署)

リスク情報等の提供

- 洪水・ため池ハザードマップ、内水ハザードマップ、総合的な防災マップの作成・配布
- まるごとまちごとハザードマップ標識の設置
- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表
- 立地適正化計画の公表
- 危機管理型監視カメラを設置、ライブ配信
- 山地災害危険区域(民有林)の位置情報等について公開
- キキクルを使用した、浸水、土砂、洪水の情報提供

訓練活動

- 総合防災訓練、災害対策図上訓練を実施
- 自主防災組織を対象としてハザードマップを活用した防災教室を実施
- 市町村における風水害対策図上訓練の企画実施を支援



住民参加型の防災訓練(南部町)



消防団ドローン導入(田子町)

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・促進
- 立地適正化計画を策定・公表
- 地域防災計画の改定
- 洪水浸水想定区域の新規指定・見直し

森林づくりへの住民参加

- 植樹祭への参画等社会貢献の森林づくりを実施

要配慮者の支援

- 河川の氾濫を想定し、福祉施設から要配慮者の避難と避難所での生活体験実施

水防活動の支援

- 水防活動資機材の整備
- 消防団ドローン導入
- 水防団を対象とした水防訓練への参加
- 災害時の応援協定

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川水系流域治水協議会

取り組み・主対象	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
① 知る機会を増やす ◎流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎情報伝達手段強化 地域 個人	広報誌・研修会で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施			
	テレビやYouTubeを使用した流域治水の広報活動			
◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害・内水ハザードマップの作成・配布			
	キキクルを使用した浸水、土砂、洪水の情報提供			
② 自分事と捉えることを促す ◎教育活動 地域 個人	小中学校・住民の防災意識向上のための防災教育の実施、ワークショップ開催			
	住民や企業を対象とした出前講座の実施			
	森林教育や体験学習を実施			
◎訓練活動 地域 個人	総合防災訓練			
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・促進			
	◎水災害対策の支援 個人 河道掘削・堤防整備			
◎森林づくりへの住民参加 個人	植樹祭への参画等社会貢献の森林づくりを実施			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 防災備品の整備 災害時の応援協定			

馬淵川水系流域治水協議会（青森河川国道事務所）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 重要水防箇所合同巡視の実施 (馬淵川:27人)



重要水防箇所合同巡視

教育活動

- 出前講座等の実施
- 小学生の体験学習として、水生生物調査、河川の学習会を実施



一日河川パトロール

訓練活動

- 洪水対応演習
- 水防工法訓練



洪水対応演習

水防活動の支援

- 排水ポンプ車派遣



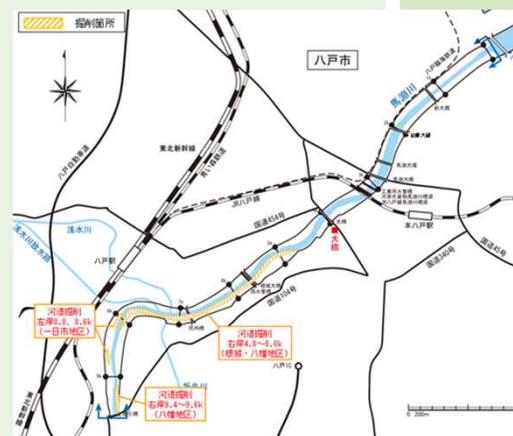
排水ポンプ車

流域治水の広報

- 流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整
- SNSを使用した防災情報の共有

計画策定

- 河川整備基本方針の変更を検討
- 河川整備計画変更(R6.1月)



馬淵川水系河川整備計画 (大臣管理区間) 位置図

水災害対策の支援

- 河道掘削・堤防整備
- 道路高台等への避難場所の整備・確保



道路高台への避難階段

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(青森河川国道事務所)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			
	流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整			
②自分事と捉えることを促す	◎連携活動 地域 個人			
	重要水防箇所合同巡視 (馬淵川)			
③行動を誘発する	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体			
	環境・防災学習支援			
	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
②自分事と捉えることを促す	◎教育活動 地域 個人			
	洪水対応演習 水防工法訓練			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	馬淵川水系河川整備基本方針変更の検討 馬淵川水系河川整備計画フォローアップ			
	◎水災害対策の支援 個人			
③行動を誘発する	河道掘削・堤防整備の推進			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			
水防活動支援 (排水ポンプ車派遣等)				

馬淵川流域治水協議会（八戸市）

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

防災教育・防災訓練

○住民の防災意識向上のための防災教育や防災訓練の実施



リスク情報等の提供

○洪水・ため池ハザードマップの作成・配布



○まるごとまちごとハザードマップ標識の設置



- 雨水出水浸水想定区域の公表
- 内水ハザードマップの作成・配布
- 立地適正化計画の公表

計画策定

○要配慮者利用施設による避難確保計画作成の支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(八戸市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p>				
<p>②自分事と捉えることを促す</p>				
<p>◎防災教育・防災訓練 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進（防災教育は随時実施）</p> 			
<p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>		<p>● 図上訓練</p>	<p>● 総合防災訓練</p>	<p>● 図上訓練</p>
<p>③行動を誘発する</p>				
<p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮者利用施設による避難確保計画作成の支援</p> 			

馬淵川流域治水協議会（三戸町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○県が主催する流域防災研修会や、八戸圏域市町村圏で主催する研修会への参加促進。

流域治水の広報



○自主防災会や町内会への防災出前授業（講師は防災士の資格を有する町職員）



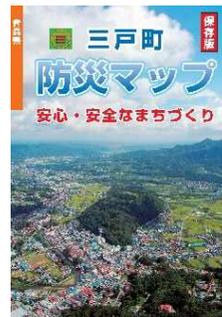
教育活動

○防災をテーマにしたワークショップの開催（1回、50人）
○小中学校への防災教育・HUG避難所運営ゲーム（1回、60人）



リスク情報等の提供

○浸水想定区域（想定最大規模）等を反映した「三戸町防災マップ」を更新・配布。
災害発生前及び発生時の行動を確認し、防災意識・知識の向上のため、避難場所等に関する情報を周知。



訓練活動

○災害対策図上訓練を実施（職員・関係機関、1回、60人）



水防活動の支援

○水防活動拠点整備
ドローン導入
ドローン3基、操縦者5名



○水防団（消防団）への土のう袋の配布（各分団50袋/年）

○水防団員（消防団員）の募集

年度	団員数（人）	充足率（％）
令和3年度	418	88.9
令和4年度	409	87.0
令和5年度	394	83.8

※各年4月1日現在（条例定数470名）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(三戸町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	<p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●</p> <p>自主防災会や町内会への防災出前授業 →</p>			
	<p>◎連携活動 地域 個人 </p> <p>県主催の流域防災研修会参加を促進 ●</p> <p>八戸圏域連携中枢都市圏主催の研修会参加を促進 ●</p>			
②自分事と捉えることを促す	<p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し防災意識・知識の向上 →</p> <p>避難場所等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携 →</p>			
	<p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>小中学校における防災教育、出前授業 ●</p> <p>防災ワークショップ ●</p>			
	<p>◎訓練活動 地域 個人 </p> <p>住民参加型の避難訓練 ●</p> <p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →</p>			
③行動を誘発する	<p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の見直し促進と避難の実効性確保 →</p> <p>地区タイムラインの作成・周知 →</p>			
	<p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>水防団（消防団）への土のう袋の事前配布 ●</p>			
	<p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>水防活動拠点整備 →</p> <p>災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 →</p>			

馬淵川流域治水協議会（五戸町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 避難所標識・誘導標識等設置



- 浸水想定区域図、土砂災害警戒区域、ハザードマップを統合した防災マップ



教育活動

- 防災マップを活用した研修を実施



リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布
- 避難場所等に関する情報を周知

訓練活動

- 総合防災訓練を実施 (年1回)



自主防災組織への支援

- 地域単位での自主防災組織を結成できるように支援



水防活動の支援

- 水防活動資機材の整備



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(五戸町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 ◎連携活動 個人	広報誌等で水害・土砂災害を啓発 ●			
		避難所標識・誘導標識等による避難所・災害注意情報の周知		
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 ◎訓練活動 地域 個人				
		浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップ配布等		
		避難場所や経路等に関する情報の周知、住民への情報提供、メディア連携		
		防災に関する研修会 ●		
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎自主防災組織の支援 地域 ◎水災害対策の支援 地域		総合防災訓練 ●	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進	
			要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	
			自主防災体験研修会 ●	

馬淵川流域治水協議会（田子町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

- 連携活動
- 流域治水の広報
- 教育活動
- リスク情報等の提供
- 訓練活動
- 計画策定
- 水防活動の支援

○自主防災体験研修会を実施
(1回、50人)

自治会及び自主防災会を対象に、防災に係る基礎知識の習得、防災活動の参考となる事項の確認等を目的とし、講師による講演・災害図上訓練DIGを実施。



○住民参加型の避難訓練を実施
(1回、220人)



○浸水想定区域(想定最大規模)等を反映した「田子町防災マップ」を更新・配布。
災害発生前及び発生時の行動を確認し、防災意識・知識の向上のため、避難場所等に関する情報を周知。



○災害対策本部図上訓練を実施
職員対象(1回、90人)



○水防活動拠点整備
消防団員ドローン導入
ドローン4基、
操縦者10名



○水防団員(消防団員)の募集

年度	団員数	前年比
令和3年度	236	△3
令和4年度	236	0
令和5年度	232	△4

※各年4月1日現在(条例定数278名)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組み
主体が増える

馬淵川流域治水協議会(田子町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>		<p>広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●</p>		
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>総合防災訓練の実施</p> <p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し防災意識・知識の向上</p> <p>避難場所等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携</p>	<p>防災研修会 ●</p> <p>住民参加型の避難訓練 ●</p>	<p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進</p>	
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p> <p>地区タイムラインの周知</p> <p>水防団へ土のうの事前配布 ●</p> <p>水防活動拠点整備</p>		<p>災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化</p>	

馬淵川流域治水協議会（南部町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○子育て世代の若い家族を対象として、楽しみながら防災を学び、防災意識を高めるイベント開催(1回、300人)



防災意識啓発活動

○自主防災組織を対象として、ハザードマップを活用した防災教室を実施(1回、15人)



訓練活動

○住民参加型の防災訓練を実施(1回、363人)



要配慮者の支援

○河川の氾濫を想定し、福祉施設から要配慮者の避難と避難所での生活体験を実施(要配慮者6名、施設職員6名)



リスク情報等の提供

○危機管理型監視カメラを設置
ホームページでライブ配信
(馬淵川2箇所・如来堂川1箇所設置)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(南部町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●			
	◎連携活動 地域 個人	防災イベント開催 ●			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	危機管理型監視カメラによるライブ配信 			
	◎教育活動 地域 個人		防災教室 ●		
	◎訓練活動 地域 個人	住民参加型の防災訓練 ●			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人	保存食料、土のうの備蓄 ●	町道の嵩上げ整備 		
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

馬淵川流域治水協議会（新郷村）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



○総合防災訓練の実施 (約200人)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(新郷村)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体			
	◎教育活動 地域 個人			
	◎訓練活動 地域 個人	総合防災訓練		
				
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	◎水災害対策の支援 個人			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			

馬淵川流域治水協議会（二戸市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

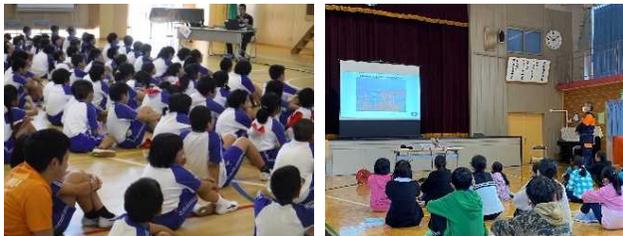
連携活動

○メディアとの連携による、防災ラジオ放送、SNS・メール配信を開始（災害情報の受信方法の多様化）



教育活動

○小中学校への防災教育・防災マップを活用した地域団体等への出前講座（令和5年度 8回、約220人）



訓練活動

○市防災訓練において住民参加型の避難訓練を実施（令和4年度 約30人、令和5年度 約80人）



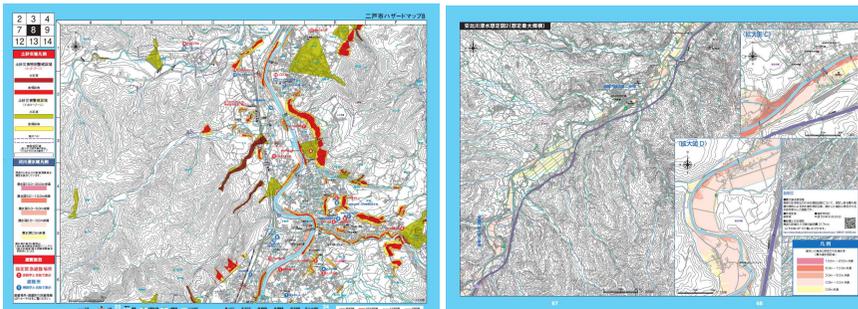
流域治水の広報

○浸水想定区域図、土砂災害警戒区域を掲載した防災マップ



リスク情報等の提供

○総合的な防災マップ「二戸市防災マップ」を更新・全戸配布



計画策定

○第二次二戸市都市計画マスタープランにおいて、立地適正化計画を策定・公表



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(二戸市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●			
	コミュニティFM等と連携した防災ラジオ放送、SNS/メール配信による情報提供の多様化 (随時)			
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	転入者・希望者等への「二戸市防災マップ」の配布、防災ラジオの無償貸与等 (随時)			
	避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携			
	防災マップを活用した自主防災組織・自治会・地域団体等への防災出前講座 (随時)			
	小中学校における防災教育、出前授業			
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と支援、避難の実効性確保			
	市防災訓練等における住民参加型の避難訓練 ● ● 「二戸市防災マップ」の周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
	市民への土のうの配布 (要望時)			

馬淵川流域治水協議会（八幡平市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 防災マップ等を用いた防災教育
 - ・出前講座(4回、67人)
- 小中学校への防災教育(2回、34人)



水防活動の支援

- 水防団を対象とした水防訓練への参加



訓練活動

- 住民参加型の総合防災訓練を実施(八幡平市、1回、580人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表
- 総合的な防災マップ(洪水・土砂災害ハザードマップ)を更新・配布

計画策定

- 避難確保計画の策定支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(八幡平市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>		<p>広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●</p>			
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>防災マップ（洪水・土砂災害ハザードマップ）の配布等</p>				
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>防災講話、研修会</p> <p>小中学校における防災教育、出前授業</p>		<p>住民参加型の避難訓練 ●</p> <p>防災マップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進</p>	<p>要配慮者施設等の避難確保計画の策定支援と避難の実効性確保</p>	
	<p>水防団との情報伝達体制の確認</p> <p>水防資器材の確認</p>				

馬淵川流域治水協議会（葛巻町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 小学校の洪水避難訓練時における防災教育(1回、57人)
- 小学生の役場防災施設の社会科見学時において、町内に潜む洪水、土砂災害の危険性等について説明の実施(1回、22人)



訓練活動

- 住民参加型の防災訓練(消防団員による水防訓練も実施 葛巻町総合防災訓練、1回、180人)



リスク情報等の提供

- 地域の洪水・土砂災害の危険性、正しい避難方法等について、葛巻町防災マップを用いて情報の提供をした。(平船地区10人)
- 葛巻町食生活改善推進員協議会研修会において、町内の洪水・土砂災害の危険性、災害への備え、避難等についての情報提供(30人)



避難計画の実効性の確保

- 要配慮者利用施設を巡回し、避難確保計画に基づく避難について説明をすることにより避難計画の実効性の確保を図る(10施設)

避難訓練の支援

- 要配慮者利用施設の土砂・洪水災害避難訓練の支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(葛巻町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人		広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●		
	小学校の社会科見学等の機会を利用防災施設の役割等を説明 →			
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 学校 個人 ◎訓練活動 地域 個人	避難場所や経路等に関する情報の周知、町民への情報提供 →			
	各自主防災隊、各団体等への防災講話、研修会 →			
	小中学校における防災教育等 →			
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		住民参加型の避難訓練 ● ● ●	防災マップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →	
	要配慮者施設等の避難確保計画に基づく避難の実効性確保 →			
災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 →				

馬淵川流域治水協議会（一戸町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○小中学校への防災教育・出前講座
(1回、35人)



訓練活動

○住民参加型の防災訓練を実施
(2回、101人)



計画策定

○一戸町地域防災計画
の改訂

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(一戸町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎教育活動 地域 </p>	<p>小中高校における 防災教育、出前授業</p>	<p>● ● ●</p>	<p>● ● ●</p>	<p>● ● ●</p>
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 </p>	<p>防災講話、研修会</p>	<p>● ● ●</p>	<p>● ● ●</p>	<p>● ● ●</p>
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎訓練活動 地域 </p>	<p>住民参加型の避難訓練</p>	<p>● ● ●</p>	<p>● ● ●</p>	

馬淵川流域治水協議会（青森県林政課）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

治山事業のPR

治山事業

治山事業は、森林法に基づき、保安林の指定目的を達成するために行う森林の造成事業です。

治山事業の役割とは

- 土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守る
- 森林の水源かん養機能により豊かな水を育む山づくり
- 海岸からの飛砂等を防止する森林を育む
- 森林と人との共生林づくり

○県庁のHPにて、治山事業の役割や大切さについてPR



治山事業概要図

土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守ります

リスク情報等の提供



■画面構成について

画面構成は、下記に示すとおりです。それぞれの名称は、以下の解説で説明します。

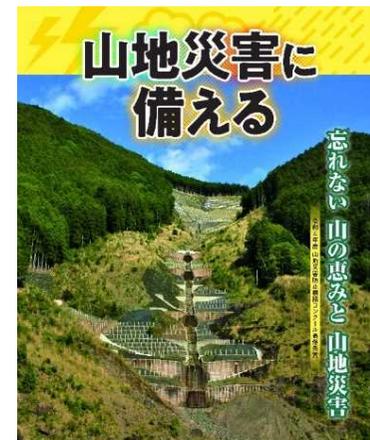


○青森県山地災害危険地区(民有林)の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知

山地災害防止キャンペーンの実施

○住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示

・実施期間
R5.5.20～6.30



令和5年度 山地災害防止キャンペーン
期間 5月20日(土)～6月30日(金)
対象 県庁庁舎、各市町村、農林事務所、農林事務所
対象 (一社)日本山地災害協会



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(青森県林政課)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎治山事業のPR 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>県庁のHPにて、治山事業の役割や大切さについてPR</p> 			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>青森県山地災害危険地区（民有林）の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知</p> 			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎山地災害防止キャンペーンの実施 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示</p> 			

馬淵川流域治水協議会（青森県河川砂防課）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

○テレビやYouTubeを活用した流域治水の広報活動



リスク情報等の提供

○浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(青森県河川砂防課)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 様々なメディアを活用した流域治水の広報活動			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 浸水想定区域、土砂災害警戒区域の公表			
	◎教育活動 地域 個人 川の防災安全教室、出前講座の実施			
	◎訓練活動 地域 個人			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	◎水災害対策の支援 個人			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			

馬淵川水系流域治水協議会（青森県危機管理局）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

広報活動

○避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知



警戒レベル	1	2	3	4	5
避難指示	なし	なし	なし	なし	あり
避難勧告	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示等	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示	なし	なし	あり	あり	あり
避難勧告	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示等	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示	なし	なし	あり	あり	あり
避難勧告	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示等	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示	なし	なし	あり	あり	あり
避難勧告	なし	なし	あり	あり	あり
避難指示等	なし	なし	あり	あり	あり

○あおりおまもり手帳を活用した普及啓発



出前講座

○住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施（13回、827人）



教育活動

○分かりやすい教材等を用いた小学生への防災教育（2回、141人）



研修会開催

○自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施（15市町村、20回開催）



訓練活動

○市町村における風水害対策図上訓練の企画実施を支援（3市町村、3回）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(青森県危機管理局)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎広報活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知</p> <p>あおりおまもり手帳を活用した普及啓発</p>			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎出前講座 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施</p> <p>分かりやすい教材等を用いた小・中学生への防災教育</p>			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎研修会開催 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施</p> <p>市町村における災害対策図上訓練の企画実施を支援</p>			

馬淵川流域治水協議会（岩手県）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

- マスメディアやSNSを活用し、大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施



- 市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施

流域治水の広報

- 流域治水のパネル展や土砂災害パネル展を実施



訓練活動

- 市町村と連携した水防訓練の実施

- 气象台等と連携し、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施（防災気象情報の活用、災害情報システムの操作等）



教育活動

- 自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣
- 土砂災害等に関する出前講座の実施

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表や住民説明会等の実施
- 危機管理型水位計・監視カメラの継続運用
- 緊急速報メールやLINE等を活用して県民へ情報提供
- メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供



模型実験で土石流と砂防堰堤の効果を確認

水防活動の支援

- 災害時の応援協定



高齢者福祉施設と地域自主防組との避難確保訓練

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、22河川について、洪水浸水想定区域の新規指定、2河川について見直しを実施

- マイタイムラインの普及啓発

洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画

	全体計画	うち馬淵川流域
R4	7河川（新規指定） 23河川（見直し）	0河川（新規指定） 2河川（見直し）
R5	70河川（新規指定） 2河川（見直し）	11河川（新規指定） 0河川（見直し）
R6	85河川（新規指定） 4河川（見直し）	0河川（新規指定） 0河川（見直し）
R7	81河川（新規指定） 1河川（見直し）	11河川（新規指定） 0河川（見直し）
合計	243河川（新規指定） 30河川（見直し）	22河川（新規指定） 2河川（見直し）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(岩手県)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	流域治水や土砂災害の パネル展を実施 ●	●			
	●	マスメディアやSNSを活用し、大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施 ●	●		市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人					
	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、住民説明会等の実施	緊急速報メール・LINE等による県民への情報提供、メディア連携による洪水・土砂災害情報の提供	危機管理型水位計・監視カメラの継続運用	自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣	土砂災害等に関する出前講座の実施
	●	気象台等と連携し、災害への初動対応や頭上訓練等に係る研修を実施	市町村と連携した水防訓練の実施	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	洪水浸水想定区域図の新規指定及び見直しを実施（～R7年度）
	マイタイムラインの普及啓発	●	●	●	●
③ 行動を誘発する ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	災害時の応援協定				

馬淵川水系流域治水協議会（三八上北森林管理署）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

国有林野事業の広報

○森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信

三八上北森林管理署は、次のよう取組を進めております。

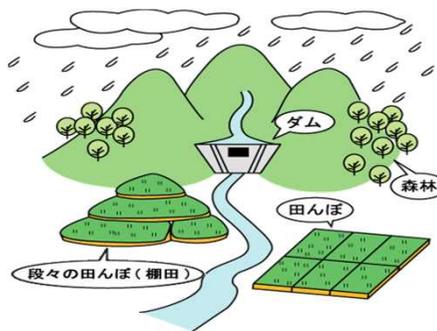
国有林の整備
国有林の整備は、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っており、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っており、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っております。

国有林の整備
国有林の整備は、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っており、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っております。

国有林の整備
国有林の整備は、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っており、国土の保全と国土の発展に資する重要な役割を担っております。

教育活動

○森林の役割や大切さ等の理解を深めるため、地元小学生を対象に森林教室や体験学習を実施(R5:4回、83人)



森林づくりへの住民参加

○三沢市海岸林において、社会貢献の森・ふれあいの森で植樹する森林づくりを実施(R5:2回、120人)



森林で雨がふると、木によって地面までとどく雨の量が少なくなります。また地面にとどいた雨も森林の地面にしみこんでたまりません。このように森林はふった雨が洪水として流れるのをやわらげる働きがあります。

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(三八上北森林管理署)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎国有林野事業の広報</p>				
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動</p>			<p>● ●</p> <p>●</p> <p>小学生を対象とした森林教室・林業体験学習</p>	
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎森林づくりへの住民参加</p>	<p>●</p> <p>●</p> <p>協定者による植樹活動を実施</p>			

馬淵川水系流域治水協議会（岩手北部森林管理署）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

国有林野事業の広報

○森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信

馬淵川上流流域の国有林
令和5年度 管内概要



岩手北部森林管理署

5. 公園・保安林等

管内の国有林には、各種法令に基づき保安林及び自然公園、自然公園等と指定されている区域があり、管理・保全、高級保護等を行っています。

保安林 (単位:ha)

種別	本県の数	上流地区の数	立付面積	単 位	立 寄
指定	34,815	2,271	149	≒1 (7,848)	≒2 (6,090)
※1 (注: 事業実施中でない数)					
※2 (詳細は下記のとおり、国土交通省の国勢統計が提供されています)					

自然公園 「十和田八幡平国立公園」6,432ha

管内の八幡平一帯は十和田八幡平国立公園に指定されており、自然環境の保全・向上を図るための様々な取組が行われています。また、自然環境の保全・向上を図るための様々な取組が行われています。

レクリエーションの森

名 称	特 徴	面積(ha)
自然休養林 (1箇所)	自然環境の保全・向上を図るための様々な取組が行われています。	1,431
自然観察 (1箇所)	自然環境の保全・向上を図るための様々な取組が行われています。	241
野営場 (1箇所)	自然環境の保全・向上を図るための様々な取組が行われています。	1,890

治山事業

山地災害を防止するための治山施設の整備や崩壊地の植生回復、保安林を整備し、地域の安全・安心を確保します。

工事(業務)名	工種等	数 量
折谷沢治山工事	鋼製組立積土留工	3基
北ノ又地区社すべり調査業務	-	12ヶ月
水沢治山工事実施設計業務	-	8ヶ月

土留工 林業専用道 ボックスカルバート

教育活動

森林の働き 多くの生き物のすみか



森林が豊かなほど多くの生き物が生きることができます。

○森林の役割や大切さ等の理解を深めるため、地元小学生を対象に森林教室や体験学習を実施 (R5: 3校6回、126人)



森林づくりへの住民参加

○御山第一国有林にて開催された「漆うるわしの森植樹祭」(R5:主催:二戸市)に参画、地元小中学生を含めて256人が参加



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(岩手北部森林管理署)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎国有林野事業の広報</p>	<p>森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信</p> 			
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動</p>	<p>● ●</p>	<p>● ● ●</p>	<p>●</p>	
<p>小学生を対象とした森林教室・林業体験学習等</p>				
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎森林づくりへの住民参加</p>			<p>● ●</p> <p>協定者による植樹活動を実施</p>	

馬淵川水系流域治水協議会（青森地方気象台）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。



リスク情報等の提供

- キキクルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

馬淵川流域治水協議会(青森地方気象台)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	キキクルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供		
	◎教育活動 地域	◎県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。		
	◎訓練活動 地域 個人			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	◎水災害対策の支援 個人			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			